

神大スポーツ
KU 2018年12月7日(第31号) 金曜日
 発行:神奈川大学
 協力:神奈川大学体育会本部
 〒221-8686 横浜市神奈川区六角橋3-27-1
 TEL045-481-5661

世界王者誕生!!



9月6日(木)〜16日(日)に開催されたIFSCクライミング・世界選手権2018(以下世界選手権)男子ボルダリング部門で原田海選手(人科・2年)が初出場・初優勝に輝いた。毎年活躍ぶりが目覚ましい山岳部だが、今年度は原田選手が快挙を達成してくれた。

自身初である世界選手権の優勝について原田選手は「大会当日は非常にコンディションが良く、上手く試合に臨むことが出来た。決勝はアテンプト勝負になることがわかっていたので、いつも通りに」と自分に言い聞かせて目の前の課題に集中した。決勝での最終課題を完登した際は、ただただ涙が溢れてきた。当初の目標として優勝は考えていなかったたので実感が湧くまでに時間がかかった」と振り返る。決勝で4課題を全完登したのは原田選手のみであり、文句なしの優勝である。



原田選手がIFSCクライミング・世界選手権2018男子ボルダリング初優勝!!
山岳部 SPORT CLIMBING

今シーズンは、ボルダリングユース日本選手権鳥取大会2018ジュニア男子ボルダリング2位、IFSCクライミング・ワールドカップボルダリング八王子2018男子ボルダリング6位、IFSC世界ユース選手権モスクワ2018ジュニア男子リード・ボルダリング共に3位と数々の好成績を残している原田選手。ただ「今シーズンは世界選手権での優勝を含め、一般的に好調と見られがちだが、外国のトップ選手と比べるとパワー不足を感じている。世界選手権でも課題は多く見つかった。常に改善点を意識した練習の必要がある」とも話してくれた。現状に甘んじず来シーズンに向けた調整をはじめている姿から意識の高さが感じられた。

来シーズンの目標は「世界選手権で日本人初の連覇達成。ボルダリングを主軸としてリード・スピードでも好成績を残し、世界王者に恥じぬクライミングを見せたい」と心強く語ってくれた。原田選手は日本代表のオリンピック強化選手にも選出され、今後成長が見込める期待の選手である。来シーズン、そしてその先の2020年東京オリンピックで活躍している姿が非常に楽しみである。



通算50回目の箱根駅伝出場決定! 今年こそシード権獲得を!!



陸上競技部 EKIDEN TEAM


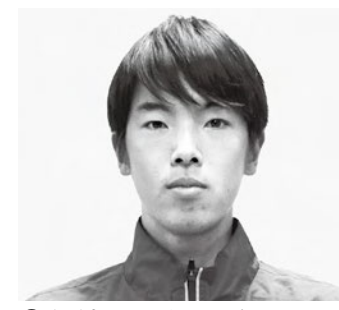
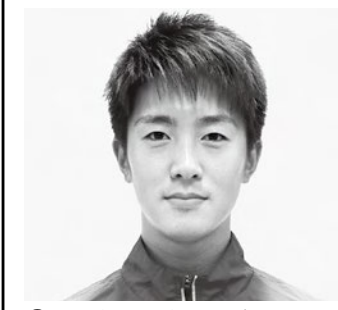









10月13日(土)に東京都立川市にて開催された箱根駅伝予選会を総合3位で通過し、2019年1月2日(水)・3日(木)に行われる第95回東京箱根間往復大学駅伝競走(以下箱根駅伝)本大会に通算50回目の出場を決めた陸上競技部駅伝チーム。山藤篤司主将(人科・4年)は「ハーフマラソンが初めての選手も多い中、チーム全体でミスなく走ってくれた。全員がフレッシュを感じながらも、予選会で3位という結果を残してくれたので良い形で本大会に繋いでいきたい。夏合宿から4年生がチームを引っ張り、1・2年生が持っている課題に対しサポートして



最後に山藤主将は「目標は「シード権獲得」であり、安定した走りでの上位を目指したい。毎年多くの方々が応援に来て頂いているので、恩返しになるような良い報告が出来る走りをする」と語りかけた。2年ぶりのシード権獲得のためチーム一丸となつて箱根を駆け抜ける選手たちの走りが楽しみだ。

KU 神奈川大学箱根駅伝選手名鑑

氏名
 ①学部・学科・学年 ②出身地
 ③出身高校 ④10000m(5000m)成績

主将 山藤 篤司 Atsushi YAMATO  ①人科・人科・4年 ②愛知県 ③愛知 ④10000m成績 28'25"27	枝村 高輔 Kosuke EDAMURA  ①経済・経済・4年 ②静岡県 ③藤枝明誠 ④10000m成績 29'30"59	佐久間 勇起 Yuki SAKUMA  ①経済・現ビ・4年 ②神奈川県 ③藤沢翔陵 ④10000m成績 29'32"83	鈴木 健太 Kenta SUZUKI  ①人科・人科・4年 ②千葉県 ③西武台千葉 ④10000m成績 29'57"88	田中 翔太 Shota TANAKA  ①経済・経済・4年 ②山口県 ③西京 ④10000m成績 29'59"87	田中 尚人 Naoto TANAKA  ①人科・人科・4年 ②高知県 ③高知農業 ④10000m成績 30'25"43
多和田 涼介 Ryosuke TAWADA  ①人科・人科・4年 ②愛知県 ③愛知 ④10000m成績 29'04"58	荻野 太成 Taisei OGINO  ①人科・人科・3年 ②静岡県 ③加藤学園 ④10000m成績 29'17"50	越川 聖太 Kenta KOSHIKAWA  ①人科・人科・3年 ②神奈川県 ③東京実業 ④10000m成績 28'53"11	古和田 響 Hibiki KOWADA  ①人科・人科・3年 ②京都府 ③綾部 ④10000m成績 29'56"75	藤村 共広 Tomohiro FUJIMURA  ①人科・人科・3年 ②愛知県 ③豊川工業 ④10000m成績 29'45"30	森 淳喜 Junki MORI  ①経済・経済・3年 ②広島県 ③広島皆実 ④10000m成績 29'41"95
安田 共貴 Tomoki YASUDA  ①人科・人科・3年 ②福岡県 ③大牟田 ④10000m成績 29'26"20	井手 孝一 Koichi IDE  ①人科・人科・2年 ②佐賀県 ③鳥栖工業 ④10000m成績 29'55"35	小笠原 峰士 Takashi OGASAWARA  ①人科・人科・2年 ②愛媛県 ③松山商業 ④10000m成績 32'15"33	北崎 拓矢 Takuya KITASAKI  ①経済・経済・2年 ②大阪府 ③関西大学北陽 ④10000m成績 29'40"71	原塚 友貴 Yuki HARAZUKA  ①人科・人科・2年 ②兵庫県 ③西脇工業 ④10000m成績 30'42"47	落合 葵斗 Aoto OCHIAI  ①人科・人科・1年 ②静岡県 ③常葉大学附属菊川 ④5000m成績 14'06"72
川口 慧 Kei KAWAGUCHI  ①人科・人科・1年 ②福井県 ③美方 ④10000m成績 32'12"94	西方 大珠 Taiju NISHIKATA  ①人科・人科・1年 ②静岡県 ③浜松商業 ④10000m成績 29'56"16	安田 響 Hibiki YASUDA  ①人科・人科・1年 ②岐阜県 ③益田清風 ④10000m成績 29'54"29	<div style="border: 2px dashed black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">参加無料</p> <p style="text-align: center;">神奈川大学陸上競技部 駅伝報告会</p> <p style="text-align: center;">日時 2019年1月15日(火) 18:00~</p> <p style="text-align: center;">場所 神奈川大学横浜キャンパス 2号館地下演習室</p> </div>		

箱根駅伝に向けてのメッセージ

神奈川大学学長 兼子 良夫
クラウドブルーの誇りを誇りに込めて!

日頃より、本学の課外活動である箱根駅伝が近づいてまいりました。選手諸君は、この栄えある舞台に並び、強い心で思いを貫く「質実剛健」、そして果敢に挑む「積極進取」の精神で、自らと仲間を信じ、クラウドブルーの誇りを誇りに込めて、走り出すことを願っています。

選手諸君が、日々、苦しい練習に耐え、目標に向かって努力してきた結果を心から讃えたいと思います。

一般社団法人 神奈川大学宮陵会会長 大場 憲治
陸上競技部 選手たちの誇りを誇りに込めて!

選手たちの誇りを誇りに込めて、走り出すことを願っています。選手諸君は、この栄えある舞台に並び、強い心で思いを貫く「質実剛健」、そして果敢に挑む「積極進取」の精神で、自らと仲間を信じ、クラウドブルーの誇りを誇りに込めて、走り出すことを願っています。

神奈川大学体育会 会長 寺西 政裕
「箱根路でクラウドブルー旋風を」

陸上競技部駅伝チームの皆様に、箱根駅伝本大会への出場決定をおめでとうございます。選手たちの走りを見て、感動しています。選手たちは、走り出すことを願っています。

箱根駅伝の沿道での応援に関するお願い

- 沿道で応援していただく皆様は、箱根駅伝は育てられました。これからも、永らく愛される箱根駅伝でありたいと思っております。是非とも、応援マナーにご協力をお願いします。
- 禁止事項**
- 脚立を使ったり、危険な行為は危険です。
 - ガンドールや旗など、沿道公共物への横断、旗のぼり等をくくりつけることはできません。
 - 自動車、自動二輪車、自転車の車両による応援は危険であり、交通渋滞を招きます。
 - 混雑緩和と、応援者の場所取りなどによる混乱を避けるため、スタート地点、フィニッシュ地点、中継所の前後100m以内では出場旗を示す物は掲出できません。(例) 校旗、部旗、その他、大学を標榜する旗、新聞の配布等。
 - 道路上での応援は危険です。必ず歩道から応援してください。
 - ベットをお連れの方は道路に出ないよう、ご配慮ください。
 - 選手は歩道寄りギリギリを走ってきますので、歩道から手や身体を乗り出している応援は危険です。
 - コース周辺の無人飛行機(ラジコン、ドローン)の操縦、飛行、自撮り棒の利用はできません。

1 東神奈川駅東口 往:9時15分 復:12時00分 JR京浜東北線・横浜線神奈川駅徒歩3分 京浜急行仲木戸駅徒歩2分 スローヤリパーが目印	2 横浜駅東口 ヨコハマプラザホテル前 往:9時25分 復:11時50分 各線横浜駅東口徒歩2分	3 戸部駅前 往:9時30分 復:11時45分 JR東海道本線戸部駅徒歩1分 戸部警察署付近	4 保土ヶ谷駅前 往:9時35分 復:11時40分 JR横須賀線保土ヶ谷駅東口徒歩1分
5 矢沢歩道橋付近 往:10時00分 復:11時15分 JR東海道本線・横須賀線 戸塚駅西口徒歩15分	6 原宿交差点 往:10時10分 復:11時05分 JR東海道本線戸塚駅西口・大船駅西口 藤沢駅北口より神奈中バス「原宿」下車 ドン・キホーテ戸塚原宿店前	7 遊行寺 往:10時25分 復:10時50分 東海道本線・小田急線 藤沢駅北口徒歩15分	8 高砂交差点前 往:10時30分 復:10時45分 JR東海道本線辻堂駅西口徒歩15分
9 茅ヶ崎第一中学校前 往:10時45分 復:10時30分 JR東海道本線・相模線茅ヶ崎駅南口 より茅ヶ崎公園野球場方面へ徒歩15分	10 湘南海岸公園付近 往:11時00分 復:10時15分 JR東海道本線平塚駅南口徒歩15分 南口から海岸方面に直進し、134号線に突当った歩道橋付近	11 国府津駅前大磯寄り 往:11時40分 復:9時25分 JR東海道本線国府津駅徒歩5分 駅から東京方面へ100mのんき亭前	12 小田原 西湘法律事務所前 往:12時06分 復:9時00分 JR東海道本線小田原駅東口徒歩15分 本町交差点より箱根方面に100m
13 箱根湯本駅前 往:12時25分 復:8時50分 箱根登山鉄道箱根湯本駅徒歩5分 駅から東京方面に約200m			

みな集まれ! スタート地点とゴール地点にて、チアリーディング部と管弦楽団による応援活動を行います。

おしらせ

箱根駅伝 本大会直前インタビュー

来月に箱根駅伝本大会を控える陸上競技部駅伝チームの大後栄治監督に話を聞いた。箱根駅伝予選会について「3位という結果だったが、今年はキャリアを築く事に専念している。予選会で初めてハーフを走る選手もおり、選手は不安を感じながらも良い経験が積むことが出来た」と話す大後監督。

予選会後の全日本大学駅伝では「当初から激しい戦いになるのはわかってきた。ケガでエントリー出来ない選手や走った選手たち全員が結果に対して非常に悔しい思いを感じている。シーズン後半は選手に期待している。今年こそ箱根駅伝本大会に繋がる良い負け方をしたい。」

悔しい思いを箱根駅伝に!

11月4日(日)に開催された秩父宮賜杯第50回全日本大学駅伝対校選手権大会に、以下全日本大学駅伝(以下全大駅伝)にて陸上競技部駅伝チームは10位となり、悔しい思いを抱きながら、来年の全日本大学駅伝の目標に向けて「現3年生を軸に部全体を引っ張り、優勝を狙って欲しい」と後輩にメッセージを送った山藤主将。今後は成長していく選手たちの姿が非常に楽しみだ。

来年の全日本大学駅伝の目標について「現3年生を軸に部全体を引っ張り、優勝を狙って欲しい」と後輩にメッセージを送った山藤主将。今後は成長していく選手たちの姿が非常に楽しみだ。



9月15日(土)・29日(土)に開催された第40回関東女子サッカー選手権大会を関東女子リーグ1部第2代表として出場し3位に輝き、2018年11月3日(土)・2019年1月1日(火)に開催される皇后杯JFA第40回全日本女子サッカー選手権大会(以下皇后杯)への出場権を9年ぶりに獲得した女子サッカー部。



浅利育主将(国際経営・4年)は「9年ぶりの皇后杯への出場権は非常に嬉しい。ただ目標は1位通過を指していたので、3位という結果には悔しさを感じている」と話してくれた。普段リーグ戦で勝っている相手にも点を守り切ることが出来ず、自分たちのサッカーを出し切れなかった悔しさがあるとのこと。

チームの雰囲気について「皇后杯は出場登録選手が全てメンバー入り出来る。試合ごとに交代要員の制限もある。練習も常に試合を意識しチームの選手全員が試合に出場できるような切磋琢磨している」と話す浅利主将。ただ練習の雰囲気は和やかで、トップ選手たちと戦える喜びを感じているようだ。

皇后杯への意気込みとして「目標は意識せず一戦一戦勝ち進むことで、なによりリーグで活躍するトップ選手達との試合を通しての練習が選ばれる」と話す浅利主将。今後第一線で活躍する女子サッカー部の活躍が非常に楽しみだ。



女子サッカー部 WOMEN'S FOOTBALL



9年ぶり 関東地区予選突破 皇后杯出場権獲得



10月13日(土)・14日(日)に開催された第91回日本学生氷上競技選手権大会(以下インカレ)にて学校対抗男子5000mリレーに出場した水澤拓海主将(人科・4年)、吉田陵平(人科・3年)、重弘喜一(人科・2年)、齋藤駿(人科・1年)4名の優勝をはじめ、男子総合2年連続通算8回目の優勝に輝いたスケート部スピード部門。

インカレ男子総合2連覇を達成し水澤主将は「今年度は優勝が狙える能力の高い選手が多く、しっかりと力を出し切り試合に臨んでくれた。1人1人の成果の積み重ねとチーム優勝した学校対抗男子5000mリレーのタイムについて、スタートを任せられた重弘選手は「試合前は他大学の出方を探る為にゆとりとした出だしを心掛けていたが、気持ちが高ぶりスタートから速度を上げてしまった」と振り返る。ただそれが功を奏し、続く齋藤選手、吉田選手、アンカーの水澤主将もペースを上げ切ったまま517のタイムで駆け抜け、大幅に大会記録を更新することになった。

普段の練習について吉田選手は「水澤主将がしっかりと部をまとめ、選手1人1人が自分のペースで練習出来るように調整をしてくれている。心の支えになつており、メリハリのついた練習が出来る」と話してくれた。



インカレ男子総合 2年連続 優勝 スケート部スピード部門 SPEED SKATING



8月28日(火)・31日(金)に開催された文部科学大臣杯全日本学生レスリング選手権大会(以下インカレ)で須川選手は「優勝を争える位置と伝えられたが、考えないよう試合に臨んだ。落



ち着いて試合もでき、全試合を失点なしのテクニカルフォール勝ちで優勝に結びつけた。須川選手は「相手から点を取られないうえに鉄壁のディフェンスに繋がっている。今後は攻撃面を強化し、攻守揃った選手として自分のリズムで戦いたい」と話した。



江ノ島・葉山を拠点とするヨット部で、スキッパーの井藤選手(自治行政・4年)とクルーの上田実優副主将(総合工学・2年)のペアが9月22日(土)・24日(月)に開催された第27回全日本学生女子ヨット選手権大会(以下インカレ)で3年連続出場を果たした。



インカレの成績が27位という結果に井藤選手は「前回の20位を超えることを目標としていた。非常に悔しい思いをした。強い風での競技を得意としていたので、後半の挽回が出来なかった」と語る。上田副主将も同様の気持ちであったが「試合の中で井藤選手とペアを組めたことで相性の良さもあり、信頼感が深まった」と続けて話してくれた。

課外活動団体へのご支援をお考えの皆様へ
神大スポーツ文化振興奨励金
スマートフォンからタブレットまで
スマホ読み

指導者インタビュー
今回の指導者インタビューは神奈川大学人間科学部人間科学科スポーツ健康コースの教員として活躍するチャリーディング部太田早織部長に話を聞いた。

マネージャー取材日記
今回のマネージャー取材日記は、特に海外で絶大な人気を誇るアメリカンフットボール部のマネージャー阿久津真由さんに話を聞いた。



硬式野球部
BASEBALL

秋季リーグは、10勝1負1分勝ち点5と全大学から勝ち点をとり優勝となった。春・秋連覇を達成し、夏井脩吉主将(人科・4年)は、第67回全日本大学選手権大会(以下全全大会)では初戦敗退と非常に悔しい思いをした。課題としてチーム全体的に力不足が浮き彫りになったので、ワンプレーに対する重みを常に意識して日々練習してきた。他大学のマークも多い中で、春・秋連覇を達成したことは非常に嬉しい」と話してくれた。

同大会で投手の要となつた重田準之助選手(人科・3年)は「全全大会で立上りの悪さを課題として感じていた。ブルペンでも1球1球集中して投げ練習をしてきた結果、秋季リーグでは非常に良いピッチングが出来たと振り返る。2人とも共通して、「優勝できた喜び」よりも、「常に課題を見つけ自己成長」を考えている姿が印象的であった。特に4年生は1日でも長く大学での野球生活を送れるように活動しており、この意識の高さがチームに伝わり、現在の強い硬式野球部を創り上げているのであろう。



結果について石坂夏鈴新主将(人科・3年)は「女子総合2位は創部から過去最高順位であり嬉しい気持ちもあるが、日本を目指して活動してきたので悔しい気持ちもある」とインカレを振り返る。この目標の高さを強い水泳部として、7年連続シールド権獲得に繋がっているのだから。

優勝を飾った女子4x200mフリーリレーについて、藤津選手は「昨年と同様に3位だったのが絶対優勝を狙って泳いだ」と振り返る。2番手の谷頭選手は「インカレ初出場の中、メンバーに選ばれたことに誇りを持って泳ぐことが出来た」と続けた。3番手の望月選手は「個人で優勝を狙えなかった分、最終種目のリレーに全力を出しきった」と話す。アンカーの寺本選手は「しっかりリレーを繋いでくれたおかげで、4年間の全力を出し切ることができた。泳ぎ切った3人の表情をみて優勝を実感できた」と語ってくれた。チーム全員の気持ちが揃うことで獲得できた優勝である。

来年度の目標について石坂新主将は「インカレの優勝で日本一を目指す。その為にも最高学年の私たちが高めていきたい。そして来年度の新人を迎える環境を醸成し活動していきたい」と熱く語ってくれた。来年もより強い神奈川大学水泳部の活躍を応援したい。

分野を問わず幅広い作品を創作しており、自分が好き・得意な美術を学んでいける美術研究部。日々の活動内容に関して鈴木莉乃部長(シスチーム創成・3年)は「全体が集まるような自主練習日は決めておらず、自分のやりたいことを常に重要として、自分の制作したいタイミングで油絵・水彩画・造形など好きなものを作成してもいい」と話してくれた。部室にも様々な展示品が目立つ。一見自由活動のみに見えるが牛島美帆副部長(中国語・3年)は「夏井開催のデザインフェスタと神大フエスタでは展示会を必ず開き発表の場を設け部員の意識向上を図っている」と話してくれた。近年は課外活動も非常に増えており、昨年度は企業からの依頼で横浜ベイキューターの壁に絵を描いてもらった。その他夏合宿ではフラット作成など部員同士の交流を図りながら、美術を学んでいる。

鈴木部長・牛島副部長ともに今後の目標として「近隣企業からの依頼が増えるよう、地域の役に立ちながら美術を学べる環境も増やしていきたい」と話してくれた。自分の個性を伸ばせる場所を提供してくれる美術研究部に一度訪れ体験してほしいか、がどうだろうか？



神奈川大学野球秋季リーグ戦

優勝

14年ぶり

春秋連覇!!

9月1日(土)～10月15日(月)に開催された平成30年度神奈川大学野球秋季リーグ戦(以下秋季リーグ)において、2年連続通算54回目の優勝。また14年ぶりの春秋連覇を達成した硬式野球部。伝統ある神奈川大学硬式野球部に新しい歴史が刻まれた。

インカレ女子総合

創部初

準優勝!!

7年連続シールド権獲得!!

水泳部
SWIMMING

9月7日(金)～9日(日)に開催された第94回日本学生選手権水泳競技大会(以下インカレ)にて、女子4x200mフリーリレーに出場した寺本瑠美選手(人科・4年)、藤津加奈子選手(人科・4年)、望月絹子(人科・1年)、谷頭聖選手(人科・1年)4名の優勝をはじめ、創部史上最高得点でインカレ女子総合準優勝に輝いた。7年連続シールド権を獲得した水泳部の躍進が止まらない。

文化系だより
vol.20

自分のやりたい美術が自由に学べる!!

美術研究部

分野を問わず幅広い作品を創作しており、自分が好き・得意な美術を学んでいける美術研究部。日々の活動内容に関して鈴木莉乃部長(シスチーム創成・3年)は「全体が集まるような自主練習日は決めておらず、自分のやりたいことを常に重要として、自分の制作したいタイミングで油絵・水彩画・造形など好きなものを作成してもいい」と話してくれた。部室にも様々な展示品が目立つ。一見自由活動のみに見えるが牛島美帆副部長(中国語・3年)は「夏井開催のデザインフェスタと神大フエスタでは展示会を必ず開き発表の場を設け部員の意識向上を図っている」と話してくれた。近年は課外活動も非常に増えており、昨年度は企業からの依頼で横浜ベイキューターの壁に絵を描いてもらった。その他夏合宿ではフラット作成など部員同士の交流を図りながら、美術を学んでいる。

鈴木部長・牛島副部長ともに今後の目標として「近隣企業からの依頼が増えるよう、地域の役に立ちながら美術を学べる環境も増やしていきたい」と話してくれた。自分の個性を伸ばせる場所を提供してくれる美術研究部に一度訪れ体験してほしいか、がどうだろうか？